

府省名	金融庁	部署名	総合政策局、企画市場局、監督局
-----	-----	-----	-----------------

取組のポイント

若手にとって魅力ある職場としたいとの思いから、若手職員の負担となっているルーティン業務・ロジ業務といった「雑務」の効率化の取組を実施。

国会バッチ貸出や会議室の鍵の管理簿をExcel VBA等を使って電子化し庁内ポータルにリアルタイム掲載することにより、手続の効率化とリソース有効活用を実現。また、継続して開催中のプログラミングの勉強会には、若手のみならずベテラン職員も参加し、ITを活用した業務効率化の意識を醸成。

取組概要

【取組の背景】

金融庁では、大量のルーティンワーク型雑務(資料組み、メールの転送等)などを非効率な方法で処理しており、若手の業務時間が増大。庁内アンケート調査では、83%が「無駄な業務が存在している」、71%が「前例踏襲により、根拠はなく必要がない、効率が悪いと感じられる業務がある。」と感じており、この傾向は若手に顕著であった。これを受け、係員のルーティン業務を効率化し、ロジ業務ばかりでなく、職員が対応すべき基幹的業務が出来る状況を作り、金融庁を若手にとって魅力ある職場にしたいとの思いから、本取組を開始。

【取組の内容】

- ・Excelマクロを活用し国会バッチの貸出フォーム・管理簿を作成、庁内ポータルにリアルタイム掲載(昨年度、防衛省受賞者の協力を受け、バーコードを利用し入力を簡略化する機能を導入)。
- ・職員超勤データから超勤が多い者の面談を実施するためのプログラムを開発。
- ・民間企業のエンジニアを講師に招き、業務時間後にプログラミング勉強会(ITリテラシー向上ワークショップ)を開催。1年目の若手からベテランまで参加。
- ・共用会議室の鍵管理簿について、紙からExcel管理簿に移行。Excel管理簿とOutlook(予定表)を連携し利用状況をリアルタイムに表示。未確定予約のリマインドメール機能等を実現。

【取組の成果】

- ・国会バッチ管理簿は4月～9月に約1,700件利用、会議室鍵管理簿は6月～9月に約3,000件利用。手続きを簡素化しデータ参照性の向上や予約しやすさも向上。
- ・ITリテラシー向上ワークショップでは、FinTech企業サービスの仕組みを理解するとともに、プログラミング活用した業務効率化を考えるきっかけとなる。



【プログラミングワークショップ】



【国会バッチ管理の電子化】

講評

職員のITスキルを高め、単純業務を自動化する基本的な取組として高く評価できる。ITリテラシー向上ワークショップは若手のみならず、ベテラン職員も参加しており有益。継続的な取組でレベルアップが見られる点もよい。他の職場への応用可能性も高い。